

## ソフィアがやってきた！

- 1 日 時 平成21年3月11日（水）5・6校時
- 2 学 年 6年生児童 120名
- 3 講 師 落語家「桂 都丸」氏
- 4 内 容

・ 落語は、江戸時代に完成されたが、落語のようなものは平安時代からあった。初めは、坊主が説教する時、おもしろい話をしていたのがルーツである。

・ 400年前はみんなが着物だった。手ぬぐいを持ち、扇子を持っていた。その当時の服装で話をしている。

・ 神社や寺に来ていた人に向かって、「見台（けんたい）」をたたいてこちらを向かせた。

・ 現在、大阪に200人、東京に600人の落語家がいる。

・ 落語家になるのに大切なことは、師匠について修行すること。しかし、落語を覚えることがたいへんなのではなく、師匠の世話をしたり、いつも明るく振る舞ったり、礼儀作法を覚えたり、人の気持ちを考えたりすることがたいへんなのである。

（詳しくは京都新聞をご覧ください。）



【落語のルーツについて話す都丸氏】



【なるほど、太鼓には、そんな意味があったのか・・・。】



【小咄を一席】



【児童も高座に上がらせてもらって羽織まで着せていただいて小咄を1つ・・・】